

科目名	即興演奏・伴奏法Ⅱ B	形態	演習	開講期	秋学期
担当教員	吉澤 智恵	単位	1	年次	2

＝授業科目の目標＝

ヤマハの演奏グレード取得には欠かせない即興演奏。しかし、避けがちになる項目でもあるが、出来るだけ楽しく取り組み、身につけ、上達し、目標グレード取得を目指す。

＝履修の条件と学習の方法＝

電子オルガン（エレクトーン）が演奏出来ること。コード（C・F・G etc…）が理解できている事。演奏グレード6級までの即興演奏が出来る事。

＝授業内容＝

- 1回 ガイダンス：シラバス（講義の目標や内容）の確認。
- 2回 受講生の修得状況を把握、課題実習 即興A・B
- 3回 進度に合わせた個人指導 即興A・B（その1）
- 4回 進度に合わせた個人指導 即興A・B（その2）
- 5回 進度に合わせた個人指導 即興A・B（その3）
- 6回 進度に合わせた個人指導 即興A・B（その4）
- 7回 進度に合わせた個人指導 即興A・B（その5）
- 8回 進度に合わせた個人指導 即興A・B（その6）
- 9回 進度に合わせた個人指導 即興A・B（その7）
- 10回 進度に合わせた個人指導 即興A・B（その8）
- 11回 進度に合わせた個人指導 即興A・B（その9）
- 12回 進度に合わせた個人指導 即興A・B（その10）
- 13回 進度に合わせた個人指導 即興A・B（その11）
- 14回 進度に合わせた個人指導 即興A・B（その12）
その1からその12の内容
 - ・音色（レジスト）の研究
 - ・ジャンルによる伴奏型のバリエーションを広げる
 - ・コード付け
 - ・音色（音楽の選び方、奏法）について研究
 - ・選んだ楽器による変奏の仕方について研究
 - ・形式感、構成を意識した全体のまとめ方
 - ・変奏内容をより生かせる奏法の研究
 - ・状況を見て、同一課題のディスカッションをする
 - ・課題を実践的に取り組み意見交換し、意見交換をし、理解を深め広げる。
 - ・出来るだけ、たくさんのいろいろなタイプの課題にあたり、こなしていく。
- 15回 実技公開試験

＝成績評価の方法と評価の基準＝

出席状況（日数）。授業に対する意欲、姿勢。毎回の授業での内容を積極的に取り入れられているか。（構成、伴奏型、レジスト、奏法、演奏表現など）

＝テキスト（必携）＝

特になし